



平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社キムラタン
 代表者名 代表取締役 浅川 岳彦
 (コード番号 8107 東証第 1 部)
 問合せ先 常務取締役 木村 裕輔
 (電話 078-332-8288)

平成 30 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異
 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました、平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)の業績予想値と実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向等を踏まえ、平成 30 年 3 月期通期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,000	百万円 △90	百万円 △95	百万円 △100	円 銭 △1.12
今回実績値 (B)	1,880	△214	△228	△230	△2.59
増減額 (B - A)	△119	△124	△133	△130	—
増減率 (%)	△6.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	1,756	△223	△243	△247	△2.78

2. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,000	百万円 20	百万円 10	百万円 5	円 銭 0.06
今回修正予想 (B)	—	—	—	—	—
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	4,199	△293	△320	△327	△3.68

3. 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異の理由

当第2四半期の売上高は、前年同期に対し7.1%増と伸長し、既存店売上高前期比もBaby Plazaで10.3%増、BOBSONで7.0%増と堅調に推移しましたが、8月～9月の販売が軟調な推移となったことにより、計画値には至りませんでした。以上が主要因となり、第2四半期累計期間の売上高は前回予想を下回る結果となりました。

売上高が予想値を下回ったことと、値下げ販売比率が計画より高まったことにより、営業利益は前回予想を下回る結果となり、それに伴って経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は各々予想を下回りました。

4. 通期業績予想の修正の理由

当第2四半期の業績を踏まえ、このような結果を深く反省するとともに、経営計画の抜本的な見直しが急務であると認識し、収益構造の改革と経営基盤の構築に向けた抜本策の策定に鋭意取り組んでまいります。当第2四半期の業績と前回予想との乖離を踏まえると通期業績も厳しい予想とならざるを得ませんが、抜本的な改革の道筋とともに収益改善策を織り込んだ予想値をお示しすることが妥当であると判断し、通期業績につきましては前回予想を一旦取下げ、見通しが確定次第公表させていただきます。

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び1株当たり当期純利益を算定しております。

以上